

## 武蔵野クラブ内 マラソンコンテスト規約

- 開催日時  
8月1日 00:00 ~ 8月31日 23:59 (JST) の1カ月間。
- 参加資格  
武蔵野クラブ会員
- 使用周波数帯/モード  
各会員が個人局で免許されている周波数帯/モード (デジタル方式も含む)
- 参加部門

部門コード	部 門	備 考
AR	マルチバンド レガシーモード部門	従来モードを使用 (SSB/CW/FM/AM/RTTY/SSTV 等)
AN	マルチバンド ニューモード部門	ニューモードを使用 (FT8/D-STAR/C4FM 等)
BR	マルチバンド V U以上レガシーモード部門	144 MHz 帯以上の周波数で従来モード を使用 (SSB/CW/FM/AM/RTTY/SSTV 等)

レガシーモード部門 (AR または BR) とニューモード部門 (AN) への同時参加も OK とする。

なお、個人局コールサインを複数持つメンバーは、各々のコールサインの交信による得点を合算してエントリー可能。

- 交信方法  
国内・国外を問わず通常の交信による
- 得点

1) バンドにより以下の交信得点とする。

- ・135 kHz、475 kHz、2400 MHz 帯以上のバンドでの交信：10 点
- ・それ以外のバンドでの交信：1 点 (ただし、3.5MHz バンドと 3.8MHz バンドは同一バンドとする)

2) 個人局コールサインを複数持つメンバーとの交信は、各々のコールサインとの交信をカウント可能。

3) 同一局との交信はバンドごとにモードに関わらず 1 回のみカウント出来る。

ただし、自局の交信地点または相手局の移動地が市区町村単位で変わった場合はカウント出来る。(ハムログの市区町村番号が異なればカウント可能) その場合は自局、相手局の運用場所をログに明記すること。

また、自局が複数のコールサインを有する場合、自局のコールサインが異なっても自局側は同一局として扱う。

FT8 の QSO の慣例を考慮して FT8 等のデジタルモードについては下記の様にする

移動地が明確でない場合

- ・GL が異なる場合は別カウント可とする
- ・GL が同一でも、/P ありとなしの場合は 1 回のみ別カウント可とする

例： JA1YSW と JA1YSW/P は GL が同一でも 1 回のみ別カウント可

- 4) 削除
- 5) 武蔵野クラブのホームページに記載されているオン・エア・ミーティングの交信は得点としない。
- 6) リピータを使用した交信もカウントできる。(D-STAR/EchoLink など)
- 7) 記念局での運用もカウント可とする。  
~~ただし、常置場所での運用も移動局扱いとする。(参加部門はAMまたB)~~  
個人局での交信局数を超えない範囲でカウント可とする。
- 8) JA1YSW での運用もカウント可とする。
- 9) 海外からの運用もカウント可とする。

## 7. マルチプライヤー

得点を得た日数×日数（日数の2乗）、ただし得点を得た日が20日を超える場合でもマルチの算定対象の日数は20日で打ち切りとする。31日間得点を得てもマルチは20×20で400となる。  
なお、得点の対象は20日に制限されるものではありません。

## 8. サプライズボーナスマルチ

無し

## 9. 総得点の計算方法

(①得点の和) × マルチプライヤー

## 10. 書類の提出

電子メールで下記書類を提出すること

- ① 推奨サマリーシート（同等の内容が記載されていれば他のサマリーシートでも可）
- ② 電子ログ

電子ログの形式はHAMLOGやその他コンテストソフト、Excel、テキストなど自由形式で可  
参考) 電子ログ作成 HP <http://contest.jarl.org/summarymaker.htm>

## 11. 提出期限

9月30日（電子メールの送信日有効）

## 12. 提出先

武蔵野クラブコンテスト担当 JK1GMB 岡崎宛

電子メールアドレス [contest@ja1ysw.net](mailto:contest@ja1ysw.net)

## 13. 表彰

優勝、準優勝

総得点の高い順に総合順位を決定し、各部門1位を「優勝」、2位を「準優勝」として表彰する。

### ~~2) デジタルモード特別賞~~

~~全参加部門の中で、デジタルモードによる交信得点が最も多い局に、デジタルモード特別賞を授与する。~~

## 14. 結果発表

忘年会または新年会にて。

## 武蔵野クラブ内 マラソンコンテスト規約 改定経歴

2011/07/14：規約全面改定。

2011/08/21：6.得点 項に、1-1)、1-2)、1-3)の補足説明追加。

2012/07/06：6.得点 1)項 1.9MHz 帯以下と1200MHz 帯以上の交信の得点を「5点」から「2点」に変更。

6.得点 1)項 武蔵野クラブ員局との交信の得点を「10点」から「2点」に変更。

6.得点 1-1)項 「但し、相手方クラブ員局が同一運用地の場合、1つのコールサインのみをクラブ員局としてカウント可能。」を追加。

6.得点 1-2)項の掲載位置を、4.参加部門 に移動。

6.得点 1-3)項の掲載位置を、1-2)項に移動。

6.得点 2)項 同一局との交信を、「周波数が変われば有効」から「日付が変われば有効」に変更。

6.得点 4)項 武蔵野クラブ オン・エア・ミーティングの交信のカウント条件を新設。

7.マルチプライヤー 「但し、周波数帯が異なれば同一日でもマルチプライヤーとする。」の条件を削除。

9.総得点の計算方法 「①各周波数帯の得点の和」を「①得点の和」に、「②各周波数帯のマルチの和」を「②得点を得た日数」に変更。

13.表彰 2)項 「スーパーアクティブマルチ」を新設し、アクティビティ賞の決定方法を全面変更。

2012/08/02：10.書類の提出 重複チェックリストの提出条件を、「同一日の交信局数が100局を超える場合」に変更。

10.書類の提出 「電子ファイルでのログ提出の場合は、重複チェックリストの提出は不要。」を追加。

2014/07/25：規約大幅見直し

6.得点をバンド毎に変更 (135K、1.9M、WARC、1200M 以上は2点、その他は1点)

6.同一局との交信は1回のみ計上可能とする。(日が変わっても計上できない) ただし、運用場所、バンドが異なれば計上できる。

6.ロールコールでの交信は計上できない。

7.マルチプライヤーは日数の2乗とする。

8.サブライズボーナスマルチ廃止

12.提出先変更

13 2) アクティビティ賞は総合順位の50%以下の局でマルチプライヤーが最も多い局とする。

2015/07/：規約見直し変更

4. 参加部門 AM、AF、Bの3部門に変更

6. 得点 5) リピータを用いた交信も有効とする

7. マルチプライヤー 上限日数を20日とする

13. 2) アクティビティ賞を廃止

3) デジタルモード特別賞を制定

2017/7/22: 電子ファイルでのログ提出のみ有効に変更

1. 除外時間帯 参照先訂正 6.-3)項→6.-4)項

10. 紙ログに関わる文言削除、文言変更

12. 提出先変更

2017/8/1: 規約変更

6. 6)～9) 得点カウント可能な交信を修正、追加

2018/7/14: 規約変更

1. 開催日時 除外時間帯削除

6.3) 「自局、相手局の運用場所をログに明記すること。」を追記

6.4) 除外時間帯削除

10. 書類提出 推奨サマリーシート追記

14. 結果発表を「忘年会または新年会にて。」に変更

2020/7/13 会長名変更

2022/7/10：規約変更

現状に合わせ部門と得点の見直し

FT8等での移動地の取り扱いを明記

部門見直しに伴い、デジタルモード特別賞を廃止